

## 『ふくしまから食を考える！』講演会を開催しました

12月3日（土）名古屋駅前〈ウインクあいち〉にて、福島県【ふくしまからはじめよう。～ふくしまの今を語る人～】派遣事業の一環として、『ふくしまから食を考える！』と題した講演会を開催しました。参加人数は、17名でした。

講演会冒頭、福島県『ふくしまの今を語る人』派遣事業の主旨や内容の説明が、受託事業者㈱クリフ様よりございました。食と放射能に関して、消費者が不正確な情報や思い込みに惑わされることなく、自らの判断で食品の選択ができるよう、消費者向けの講演会等の場を活用し、福島県の農林水産関係者自ら、放射能物質低減の取組や検査状況、生産者の思い等を説明・紹介し、消費者と生産者との理解・交流を図ることが、この事業の主旨ということでした。

講師の横田純子氏は、会津若松市出身で、現在同市の〈NPO法人 素材広場〉の理事長を務められています。まずは、自らが中心となり活動されている〈素材広場〉の活動紹介がございました。生産者と旅館等との食材をつなぐ活動、地元素材の活用講座、旅館等食事会場のリニューアルなど、多岐にわたる活動内容がございました。また、旅行・観光について、旅行情報誌『じゃらん』の元営業兼ライターとしての経験豊富な体験や知識をもとに、福島の観光事業復活のための対策についても、色々なお話がございました。そして、福島県の東日本大震災時の状況やその後の状況変化を、映像を交えて生々しく紹介されました。現在の農林水産物の安全・安心を確保する取組についても具体的な説明がありました。最後に「怖いものはなにか？」それは、「思い込みである！」思い込みで誤解が生じている。福島や日本の状況は日々変化している。思い込みを持たずに、正確な情報を得て、正しい理解をし、正しい対応をして頂きたい！今の福島と日本の状況をもっと知って頂きたい！と、福島で頑張っている皆さんの一人として、強い願いの言葉で締めくくられました。



参加者は、講師の福島の現地からの生々しい声とお話を、真剣に聞き入っていました。また、活発な質疑応答も含めて、福島の状態についての理解が深まったようでした。

事業委員会 西田敏明